NGK2026S 開催結果報告書

この度は NGK2026Sへのご支援ならびにご参加いただきまして誠にありがとうございました。

本報告書では NGK2026S（以降、2026S）にご支援いただきましたスポンサー費用の使途ならびに開催結果についてご報告いたします。

1. 収支

受領いたしましたスポンサー費用ならびに懇親会費の収支概要は以下の通りです。

項目	金額
総収入	¥645,413
総支出	¥556,753
差引収支	¥88,660

スポンサー費用は、主に以下の用途で活用させていただきました。ご支援いただきまして誠にありがとうございました。

- 配信費用（配信システム利用料・機材購入費 など）
- 懇親会費用の補助
- ノベルティ制作費
- 広告宣伝費

詳細な内訳については、別添の「収支報告書」をご参照ください。
余剰金は次回開催（NGK2027S）へ繰り越します。将来的に参加者の増加により大きな会場の借用が必要となる場合に備え、余剰金は会場費用として積み立てていく予定です。

2026Sの開催にあたっては、前回に引き続き、会場提供スポンサー様より会場をご提供いただきました。
そのご支援により、スポンサー費用を懇親会費用の補助、ノベルティ制作、新たな集客の取り組みなどに充てることができました。ありがとうございました。

なお、直近3開催では2社の会場提供スポンサー様に交互に会場をご提供いただいています。
特定のスポンサー様にご負担が偏らないよう、今後は新たな会場の開拓も進め、多くの企業様に無理のない範囲で分担いただける体制づくりを目指していきます。

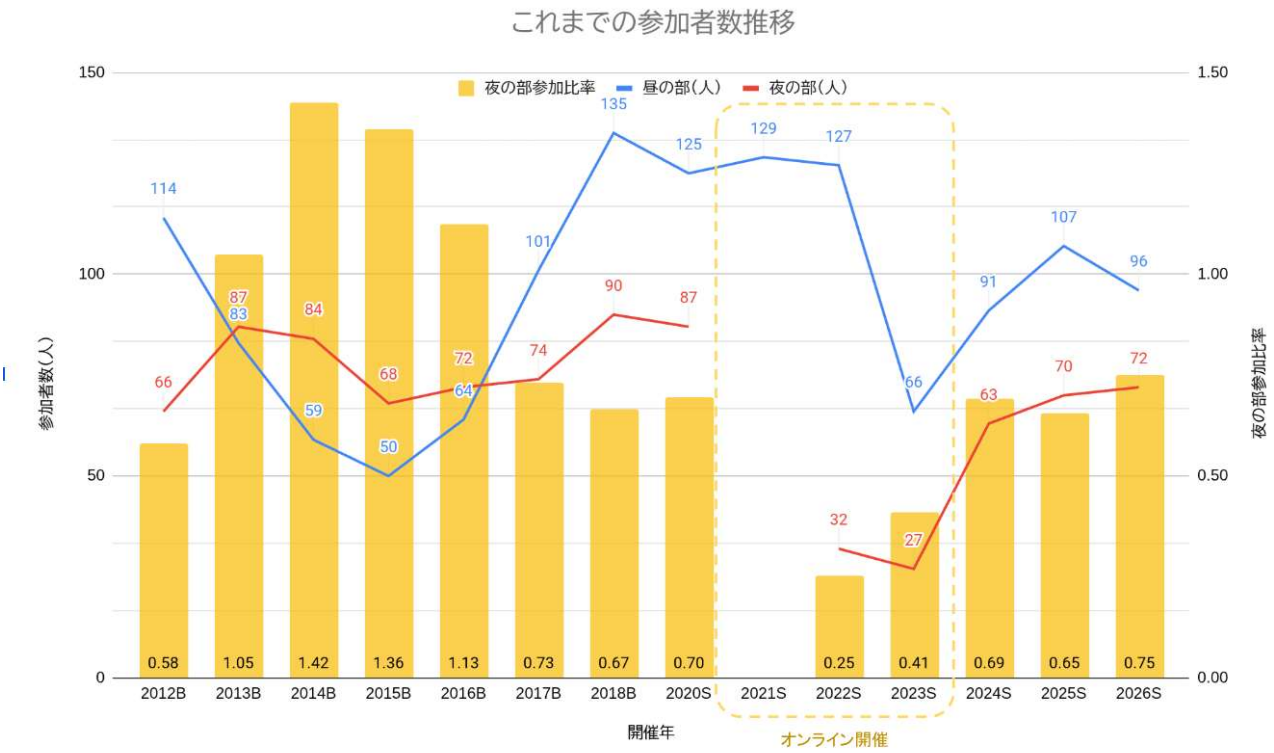
2. 開催結果/参加者

2.1. 参加者数内訳

2026S 開催当日のイベント参加者数は以下の通りです。

	参加者数（名）
昼の部（LT大会）	96（前年度比-11）
夜の部（懇親会）	72（前年度比+2）

これまでの開催における参加者数の推移と、昼の部に対する夜の部の参加比率の変化を以下に示します。
なお、2021Sの夜の部・夜の部参加比率が空白となっているのは、この年に夜の部を区別して募集しなかったためです。



参加者数は、前回（2025S）と比較して昼の部で約10%の減少、夜の部で約3%の増加となりました。

昼の部では、当日の参加者数こそ減少したものの、参加申し込みは前回の107名から118名に増加しました。
当日参加できなかった方（当日キャンセル）が例年より多かった理由までは分かっていませんが、申し込み数の伸びから、NGKの認知は着実に広げられているのではと考えています。

夜の部では、現地開催の再開以降毎回参加者が増加しており、コロナ禍後では最多となりました。
昼の部に対する参加比率も0.75と、直近のオフライン開催の中で最も高い数値となりました。
当日は飛び入りでの参加も4名あり、昼の部に実際に参加して、その場で夜の部にも参加したいと思っていただけたのではと推察しています。
前回課題としていた夜の部への参加の伸び悩みには、改善の傾向が見られます。

2.2. アンケートにおける参加者内訳

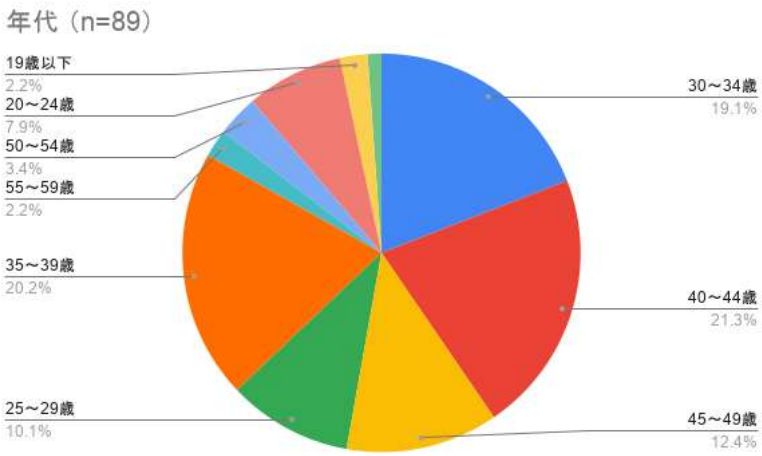
2026S 開催時のアンケートにおける参加者の内訳は以下の通りです。

今回も10代から60歳以上まで、幅広い年代の方にご参加いただきました。
初参加の割合は37%で、前回（36%）と同じく高い割合となりました。 東海のIT系コミュニティの交流の輪を広げるための、新規参加者を増やすことができました。

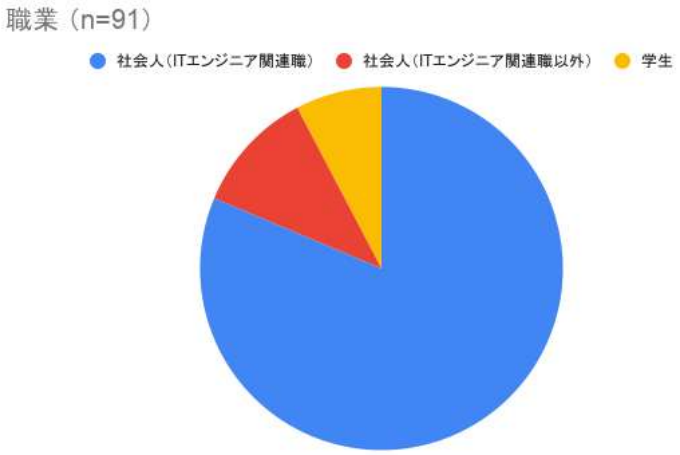
一方で全体の参加者数は伸びていないため、会場定員の制約も考慮しながら、再参加につながる工夫を検討していきます。

また、学生・10代の参加者の割合は依然小さくとどまっています。コミュニティの今後を担う若い世代の参加者を増やすことは今後の課題です。

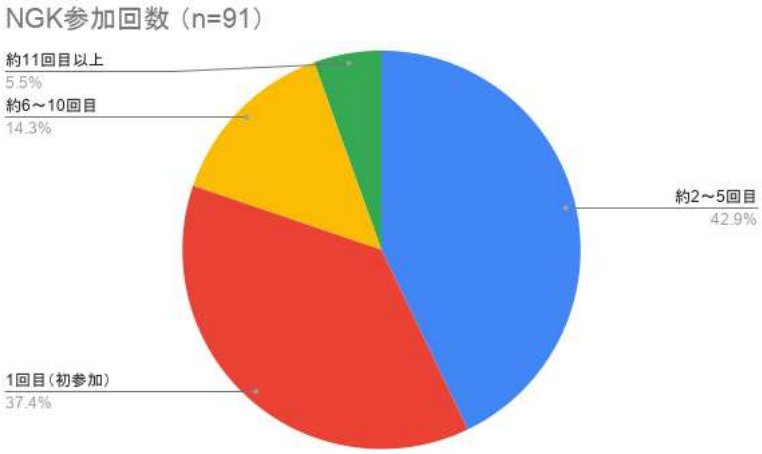
年代



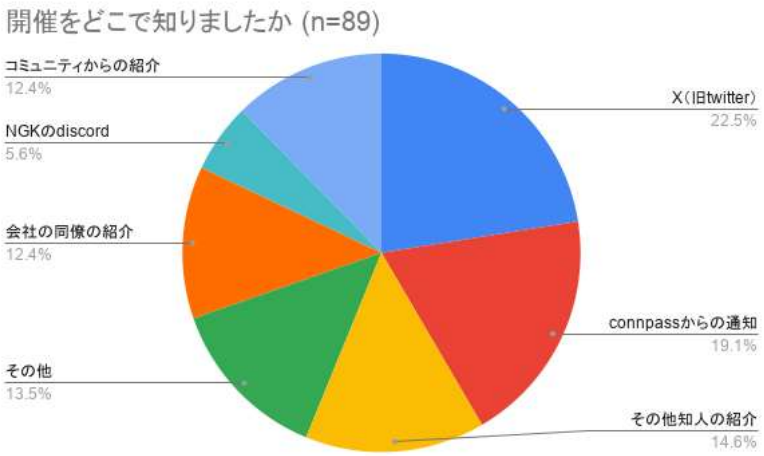
職業



NGK参加回数



開催をどこで知りましたか



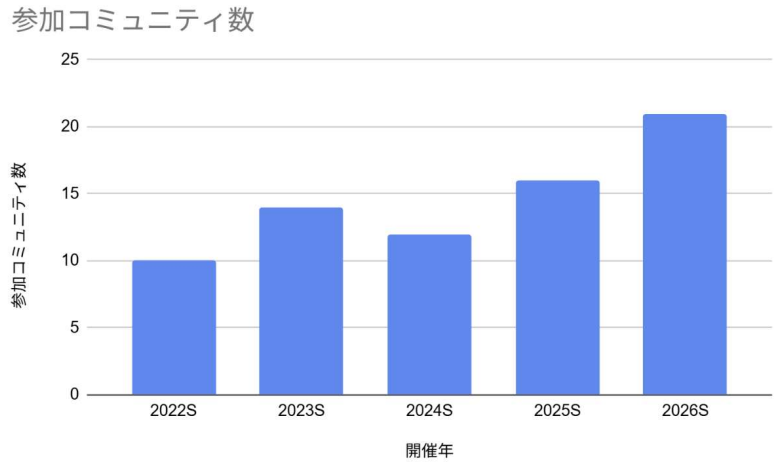
3. 開催結果/参加コミュニティ

2026Sでは21コミュニティにご参加いただきました。参加コミュニティは以下の通りです。（申し込み順）

コミュニティ名	過去参加実績
東海医療DX研究会	初参加
piyopiyo.ex	初参加
フロントエンドカンファレンス名古屋2026	初参加
機械学習名古屋研究会	NGK2025S参加
生成原論	初参加
JBUG名古屋	NGK2025S参加
鯱.py	NGK2025S参加
JuliaTokai	NGK2025S参加
デラなごや.dev（旧 デラなごや.js）	NGK2025S参加
Nagoya Frontend User Group	初参加
nagara.rb	NGK2024S参加
JAWS UG名古屋	NGK2025S参加
俺の勉強会	初参加
オープンソースカンファレンス Nagoya	NGK2025S参加
Snowflake中部ユーザー会	NGK2025S参加
中部Tableauユーザー会	NGK2025S参加
CoderDojo	NGK2024S参加
Nagoya.vim	NGK2025S参加
Japanese Raspberry Pi Users Group	初参加
クラウドネイティブ会議	初参加

コミュニティ名	過去参加実績
トウカイリサーチ	初参加

これまでの開催における参加コミュニティ数推移を以下に示します。なお明確に「参加コミュニティ」として募集を開始した 2022S 以降の実績を集計しています。



2026Sは前回から5コミュニティ増の21コミュニティとなり、「参加コミュニティ」として募集を始めた2022S以降で最多となりました。
また、ご参加いただいた21コミュニティのうち9コミュニティが初参加でした。

さらに開催後には、NGKへの参加をきっかけに、あるコミュニティの参加者が別のコミュニティの勉強会に参加する、新たに会場提供のお話をいただくといった動きもあったと伺っています。
NGKがコミュニティ同士をつなぎ、それぞれの活動を盛り上げる一助になれたのではと考えています。

4. 開催結果/配信

前回に引き続き、昼の部 LT大会の YouTube Live によるリアルタイム配信を行いました。
転職・就職などで名古屋を離れた方や、現地参加が難しい方とのつながりを保つことを目的に、connpass にはオンラインでの参加を宣言できる「配信視聴枠」を用意し、申し込みいただいた方に配信リンクをご案内しました。
当日の X（旧Twitter）上では、現地・オンラインいずれの参加者による盛り上がりも見られました。

4.1. YouTube Live リアルタイム配信

リアルタイム配信の視聴者数は以下の通りです。（開催当日 2026/1/24 時点）
配信URL: https://www.youtube.com/live/3VYHyrQYBjI

種別	回数/人数
視聴回数	98
ユニーク視聴者数	75
同時視聴者数/最大	28
同時視聴者数/平均	20

ユニーク視聴者数は75名と、配信視聴枠の申し込み数を大きく上回りました。
配信は申し込みなしでも視聴できるため、枠の申し込みによらず幅広く視聴されたことがわかります。
また、LT大会の進行中は平均して約20名の方に同時視聴いただき、現地に来られない方との接点として配信が機能したと考えています。

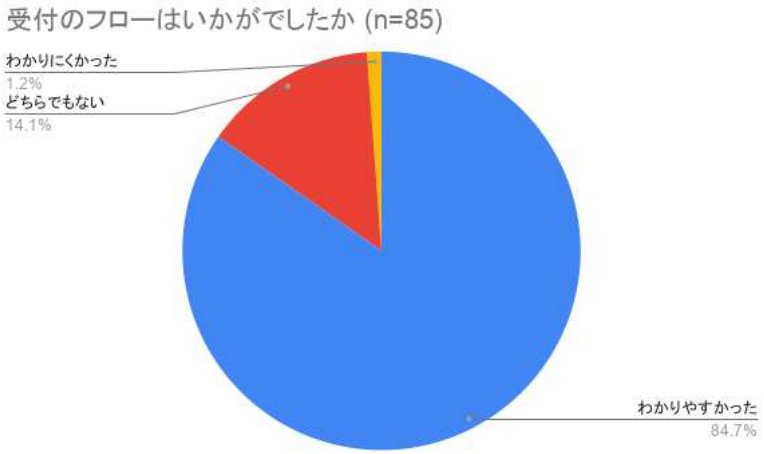
5. 開催結果/参加者アンケート結果

2026S 開催終了後、参加者に対してアンケートを実施しました。ここではアンケート結果をご報告いたします。

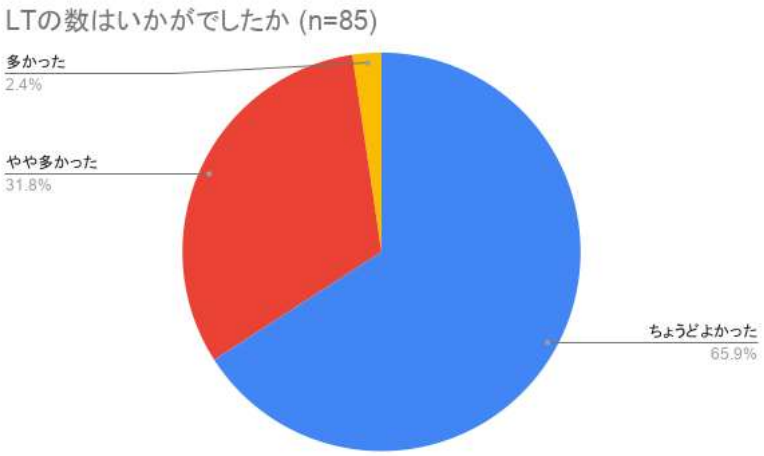
5.1. 昼の部

昼の部参加者のアンケート結果は以下の通りです。

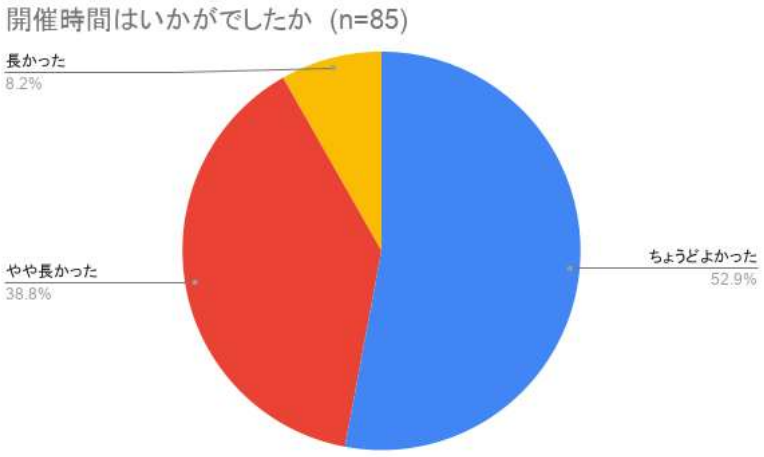
受付のフローはいかがでしたか



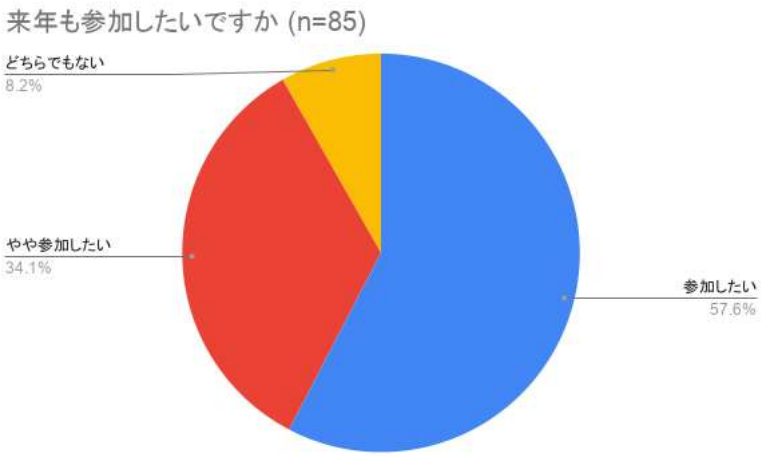
LTの数はいかがでしたか



開催時間はいかがでしたか



来年も参加したいですか



いずれの設問も肯定的な回答が大半を占め、「来年も参加したい」「やや参加したい」を合わせると、92%となりました。

自由記述では38件のご意見・ご感想をいただきました。
約半数は「楽しかった」「ありがとうございました」といった好意的なご感想で、時間管理・登壇ルールの厳密な運用を評価する感想も複数いただきました。

主なものは以下の通りです。（一部抜粋）

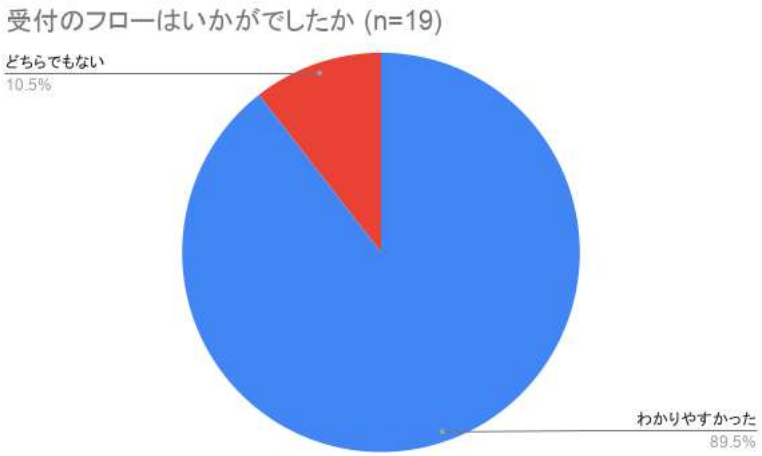
- ひさびさにNGK参加しました！ 新しい人・コミュニティも増えていて、ひさびさに勉強会に参加しようと思う 良いきっかけとなりました！（「楽しかった」「ありがとうございました」など好意的なご感想 18件）
- 毎度のことながら、時間コントロールや登壇ルールが厳密に運用されているのは素晴らしいと思います（同様のご意見 3件）
- いっそのこと、スポンサー以外はメインが宣伝のLTは全面禁止してはいかがでしょう？（コミュニティ紹介トークの量を含め、宣伝目的のLTに関するご意見 3件）
- 協賛企業以外、会社名を出さないルールであれば、何かしら事前にチェックとか出来ると良さそうだなと思いました（会社名の扱いとその運用に関するご意見 3件）
- 休憩長すぎで暇になる（開始が12時では早いというご意見を含め、タイムテーブルに関するご意見 3件）
- 登壇者の方にスポットライトが当たるといいなと思いました。顔が見えにくかったので（追加モニター、WiFi、会場入口の分かりにくさなど、会場設備に関するご意見 計5件）

いただいたご意見をもとに、次回に向けて改善を進めていきます。

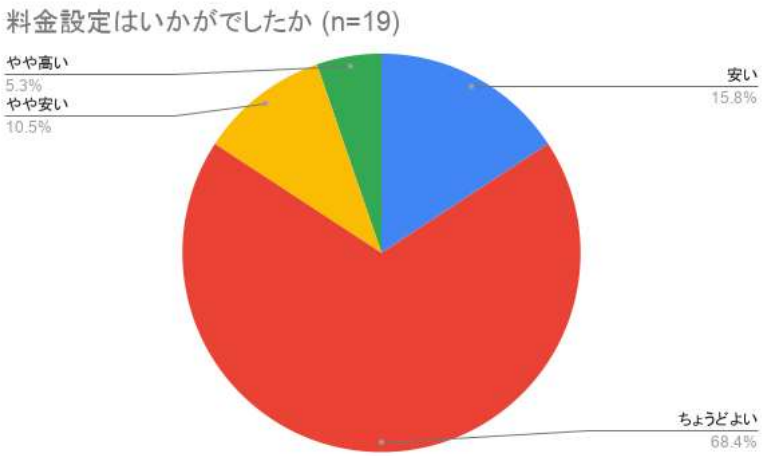
5.2. 夜の部

夜の部参加者のアンケート結果は以下の通りです。

受付のフローはいかがでしたか



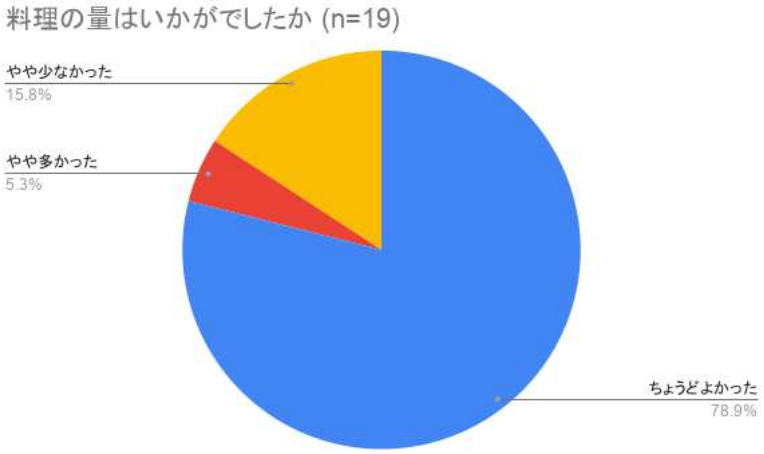
料金設定はいかがでしたか



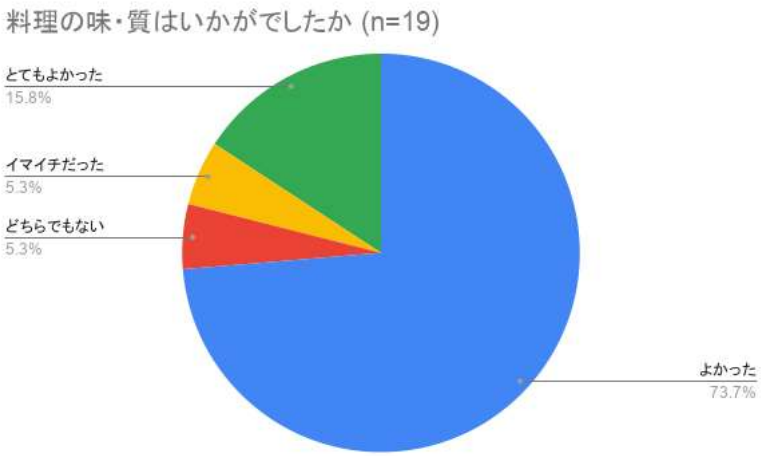
開催時間はいかがでしたか



料理の量はいかがでしたか



料理の味・質はいかがでしたか



自由記述では以下のご意見・ご感想をいただきました。（一部抜粋）

- 名札について、名前だけでなく所属しているコミュニティや好きな言語などといったものを書き込む欄を設けておくと、会話のネタとなって良いのでは（同様のご意見 2件）
- 会場によると思いますが、飛び入りLTブースがあってもいいかもと思いました
- 美味しかったです。皆さんとお話できてとても楽しい時間でした。ありがとうございます（同様のご感想 3件）

5.3. 全体

今回のアンケートでは「NGKを誰かに紹介するとしたら、どんなところをおすすめしますか？」という設問を新設しました。
回答を整理すると、大きく以下の5つに分類されました。

何を話してもいいLTの自由さ（30件）

- どんなテーマでもLTできる敷居の低さ
- わけわかんないことやってるから楽しいよ
- 様々なレイヤーやロールの人がいるので、様々話が聞けて面白い
- 全く知らなかったことをゆるーくキャッチアップできるところ

東海IT系コミュニティが一望できる（10件）

- 名古屋のエンジニア世界の縮図を見れるところ
- 名古屋の勉強会をこれから行き出す人。ここでどんな勉強会・コミュニティがあるかを知ってもらえる良い場所になると思います。
- とがったLT、東海地方の色んなコミュニティを知れる

参加・登壇の敷居の低さ（8件）

- 参加しやすい気軽な雰囲気、お祭り感
- 初心者にも優しい雰囲気
- 雰囲気が良く、LTの挑戦がしやすい環境だったと思います

普段会わない人とつながれる（8件）

- 普段自分が接する人と違うタイプとお話できる、異なるお話をきけたりと、刺激をもらえるところ
- いろいろな人と交流出来きて、楽しいイベントです。
- 多様性、地域のつながり

公平な運営（4件）

- スポンサーの代表取締役だろうがレギュレーション違反があれば強制終了する公平さ
- コミュニティイベントとして完成度の高さ
- 時間の厳密さ

このほか「最近は年配の方と若い方のバランスが取れていていいと思います」「人前で話す練習になると思うのでオススメしたい」といった回答もいただきました。

特に「自由さ」「敷居の低さ」「コミュニティとのつながり」は、これまでのNGKの良さとしてアピールしたいと考えてきた点です。
参加者の皆さんにも同様に、NGKの良さと思っていただけていることが今回のアンケートで再確認できました。
引き続きコミュニティ同士をつなぐハブとして、これらの良さを生かし、またよりアピールしていきたいと思っています。

6. 広報活動

6.1. X（旧Twitter）広告

2026Sでは新たな試みとして、X広告を試験導入しました。
若い方やこれまでNGKに接点のなかった方への認知拡大を目的に、開催直前のタイミングでライブ配信・connpassページへの誘導広告（東海4県向け）と、告知ポストのプロモーションを配信しました。

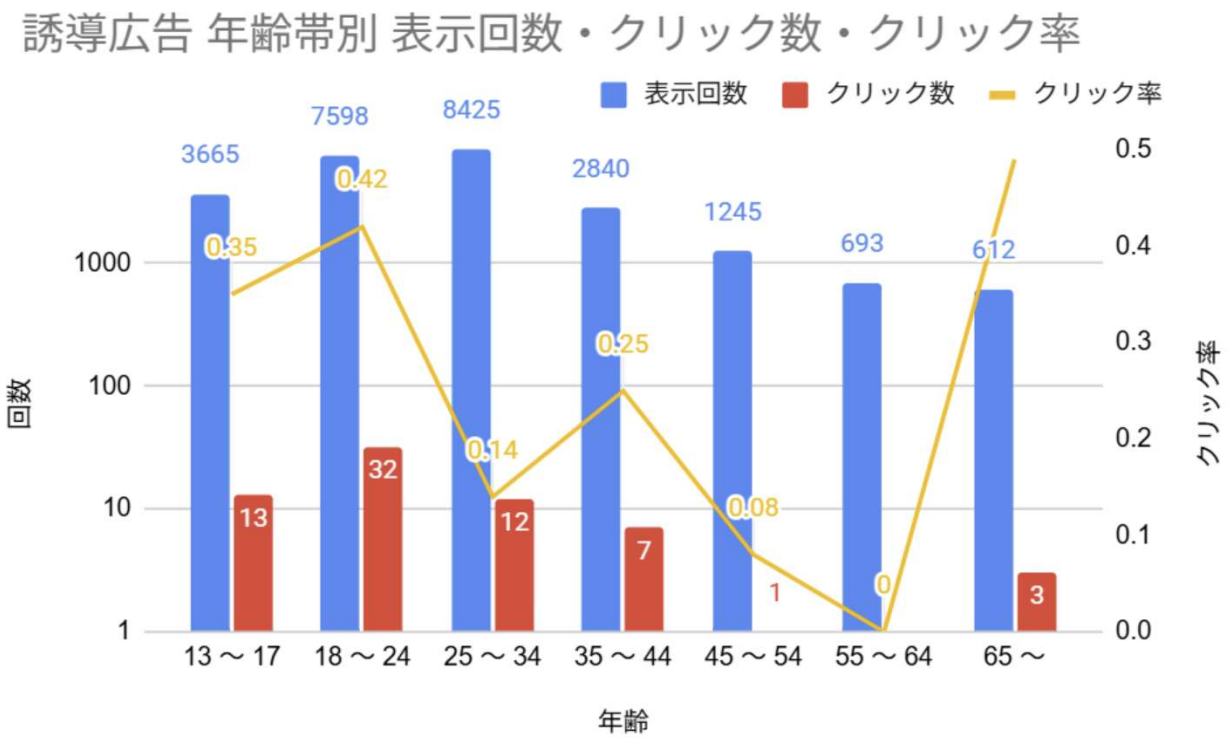
施策ごとの表示回数等は以下の通りです。

施策	目的	表示回数	費用（円）	リンククリック
ライブ配信・イベントページへの誘導広告	サイト訪問	25,638	2,386	71
告知ポストのプロモーション	リーチ	41,147	2,000	64

（費用は広告管理画面上の利用金額です。収支報告書にはXからの実際の請求額と、広告出稿に必要な X Premium 加入費を計上しています。）

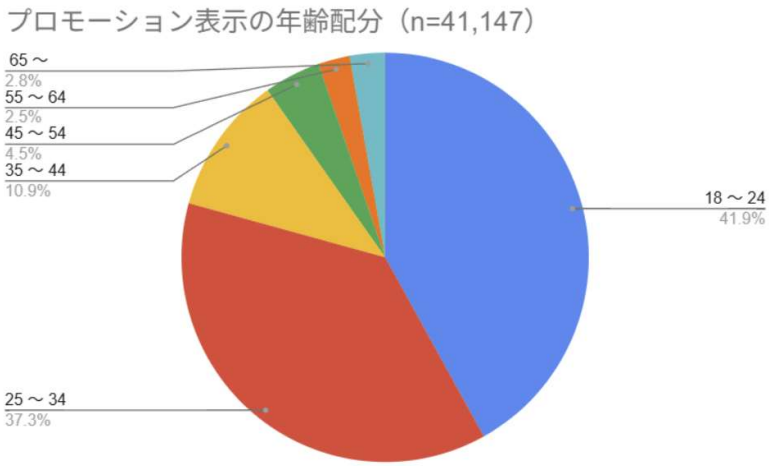
小規模なテストでしたが、合計約6.7万回の表示と約130件のサイト誘導が得られました。

年齢別では18〜24歳のクリックが最も多く、クリック率も高い水準でした。若年層・学生への認知拡大に効果が期待でき、新しい参加者を増やすための施策として有効と推察されます。



（年齢を判定できなかった配信は年齢別の内訳に含まれないため、グラフの合計と表の合計値は若干異なります。）

また告知ポストのプロモーションはクリックの年齢別内訳が記録されないためクリック数の比率は不明ですが、ポスト表示の約4割は18〜24歳と目的としていた若年層への露出が多くなっていました。



広告経由で実際にどれだけ配信が視聴されたかは、今回計測の仕組みを用意していなかったため評価できていません。

次回は、若年層に向けた訴求内容、視聴数の計測を改善し、新しい参加者・視聴者を呼び込む手段としてより活用予定です。

6.2. OSC名古屋での展示

OSC名古屋2025では、地元企画有志の皆さんのご協力のもと、「なごやコミュニティの時間 : NGK(名古屋合同懇親会)さん」と題したインタビューで、NGKの概要や過去開催の様子をご紹介いただきました。

- セッション詳細: https://event.ospn.jp/osc2025-nagoya/session/2198574
- YouTube配信: https://www.youtube.com/live/Iy0Wzwnd5AY?t=13030

今回のOSC名古屋2026では、NGKと参加コミュニティを紹介する展示ブースを出展したほか、「新年の大LT大会、NGK(名古屋合同懇親会)の紹介」と題したライトニングトークで、過去のLTの様子などをご紹介しました。

- 展示ブース: https://event.ospn.jp/osc2026-nagoya/exhibit
- セッション詳細: https://event.ospn.jp/osc2026-nagoya/session/2316522

今後も、名古屋のIT系コミュニティをつなぐハブとして、OSC名古屋をはじめとする各コミュニティと連携していきたいと考えています。

7. まとめ

2026Sを無事に終えられましたのは、スポンサーの皆様のご支援、そして参加者・コミュニティをはじめ関わってくださった皆様のご協力によるものと、深く感謝しております。

今回の開催では、参加コミュニティが21と募集開始以降で最多となったほか、夜の部の参加者もコロナ禍後で最多となりました。
また、X広告の試験導入やOSC名古屋への出展など、新規参加者を増やすための施策にも取り組みました。

一方で、コミュニティの今後を担う学生等の若い世代の参加の少なさは、引き続きの課題です。

2027Sに向けては新たな運営メンバーも迎え、これらの課題に取り組みながら、東海IT系コミュニティをさらに盛り上げていきたいと思います。

今後とも、NGKの開催にご支援・ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。